

事業名称
安全・安心まちづくり推進事業

目的	対象	市民
事業概要	交通安全対策事業 - 交通安全対策特別交付金事業・・・交通安全施設の整備（カーブミラー、ガードレール等の整備） 【工事】カーブミラー新設31基、取替3基、移設1基、ガードレール 9箇所、白線他） 【備品購入】φ 600鏡面 17面、φ 800鏡面 14面、支柱15本 - 交通災害共済事業・・・共済への加入推進、見舞金の支給 - JA共済安全・安心プロジェクト事業・・・JA共済からの指定寄附金を活用して交通安全施設等の整備 【消耗品費】のぼり 110セット、懸垂幕 2枚他 【工事】街路灯 新設31基、移設1基、ガードレール 5ヶ所 【備品購入】救急エアートント1式、テント1式、放送機材2車分（朝地、清川） - 交通安全施策の推進・・・街頭指導等の啓発活動、交通安全協会の活動推進（負担金） 防犯対策事業 - 防犯対策施策の推進・・・防犯灯の設置、維持。啓発活動。防犯協会の活動促進（負担金） 防犯灯 新設18灯、移設7灯、撤去1灯他	

5

2. 指標設定

成果指標	指標名	安全・安心度	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	100%以上			平成20年における年間の交通事故発生件数(人身・物損事故総数)及び犯罪件数(全刑法犯)の合計を基準にして、対比を安全・安心度とするもの			
活動指標	指標	a	交通安全活動の参加者数	b	防犯パトロール隊結成数	c		d
	数値	目標	17,215人	目標	35隊	目標		目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H22	H23	H24
安全・安心度	%	103.2 %	98.4 %	99.1 %
		103.2 %	98.4 %	99.1 %

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a	交通安全活動の参加者数	21,810 人	21,820 人	19,929 人
		126.7 %	126.7 %	115.8 %
b	防犯パトロール隊結成数	33 隊	35 隊	35 隊
		94.3 %	100.0 %	100.0 %
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
(交通安全) 脇見運転による事故及び高齢者と子供の事故が多い
対応(改善点等)
(交通安全) 関係機関と連携して、交通事故防止活動(啓発活動等)を強化

5. 事業費・・・H22～H24(決算額)、H25(予算現額)

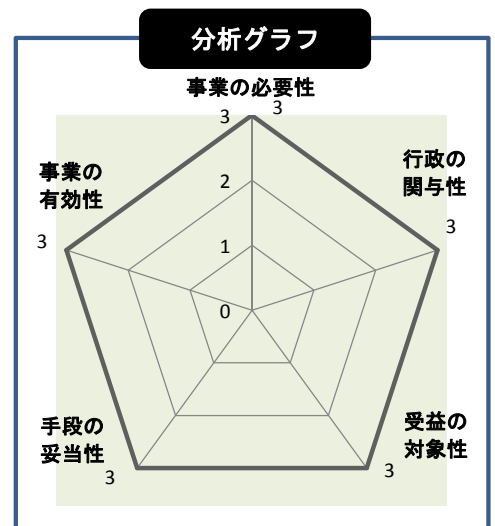
決算額(千円)		H22	H23	H24	H25
		17,571	14,910	22,736	16,524
うち経常経費		5,769	8,154	9,343	8,524
財源内訳	国費	6,989	6,681	6,825	7,000
	県費				
	市債				
	その他	418	380	6,697	358
	一般財源	10,164	7,849	9,214	9,166
うち経常		5,769	7,774	8,644	8,166
事業費に係る人件費		16,205	16,125	14,814	13,469
事業費に係る人役		3.70	3.75	3.45	3.09

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
交通事故や犯罪から市民を守り、安心して生活することができる環境づくりに引き続いて取り組んでいく。 また、個別の事業費の見直しを行い、経常経費の削減に努めていく。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 交通事故や犯罪から市民を守り、安心して生活することができる環境を提供するためには必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 交通安全対策基本法等により、国、地方自治体、住民の責務が定められており、市の責務が発生する。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 安全・安心なまちづくりを推進するうえで適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 平成24年度の成果指標は100%を若干下回ったものの、ほぼ期待通りの結果。



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、設置場所等の適正配置と経費節減に努め、交通事故防止活動(啓発活動等)の強化に努めること。